



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名 株式会社 三社電機製作所
コード番号 6882 URL <http://www.sansha.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四方邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐藤光

TEL 06-6321-0321

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,465	△29.1	1,154	△24.2	1,167	△17.4	571	△43.8
24年3月期第3四半期	20,397	8.7	1,523	15.3	1,413	14.5	1,018	△10.2

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 668百万円 (△26.4%) 24年3月期第3四半期 908百万円 (△3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	45.22	—
24年3月期第3四半期	80.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	22,477	13,515	60.1	1,068.93
24年3月期	24,260	13,005	53.6	1,028.54

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 13,515百万円 24年3月期 13,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△24.2	1,300	△31.8	1,200	△35.4	600	△53.7	47.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	12,650,000 株	24年3月期	12,650,000 株
25年3月期3Q	6,046 株	24年3月期	5,851 株
25年3月期3Q	12,643,974 株	24年3月期3Q	12,644,577 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景に緩やかな景気の持ち直しの兆しの一部にあるものの、欧州の財政危機問題や中国経済の減速に加え、東アジア地域での領土問題などの景気へのマイナス影響が大きく、総じて弱含みのまま推移いたしました。一方、昨年末に発足した新政権に対する金融緩和や諸々の経済対策実行への期待感から急速に円安・株高が進行いたしました。

このような事業環境の中、当社グループは、「収益性を重視したスリムな経営体質への転換」を最優先の経営課題として取り組んでまいりました。非常に厳しい事業環境にあった半導体事業におきましては、同事業に従事する社員を対象に希望退職者を募集した結果、昨年10月に83名（同事業従事者の約25%）が退職し、事業構造の改革を更に踏み込んで推進してまいりました。

第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内・海外を通して景気が低迷したことや設備投資の減少・製品在庫の調整等の影響が大きく、売上高は144億6千5百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

一方、利益面につきましては、これまで実施してきた経営体質改善の効果が着実に現れており、収益力（営業・経常利益率）が改善いたしました。当期間における連結営業利益率は8.0%（前年同期比0.5ポイント増）、連結経常利益率は8.1%（前年同期比1.2ポイント増）となりました。しかしながら、売上高の大幅な減少（前年同期比59億3千2百万円減少）による利益への影響が大きく、営業利益は11億5千4百万円（前年同期比24.2%減）、経常利益は11億6千7百万円（前年同期比17.4%減）となりました。なお、四半期純利益は第2四半期決算において、退職特別加算金等の費用として3億3千6百万円を特別損失に計上した結果、5億7千1百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(a) 半導体事業

当事業におきましては、不採算機種であったIPMの製造及び販売から、前連結会計年度末をもって事実上撤退したことにより、同機種の売上高が僅か9千5百万円（前年同期比93.1%減）となったことに加え、主要な需要先である中国及びアジア地域の景気減速により、主力となる産業用一般モジュールの売上高が26億7千9百万円（前年同期比36.6%減）となったことの影響が大きく、売上高は39億7千8百万円（前年同期比45.2%減）と大幅な減収となりました。セグメント利益につきましては、売上の減少（前年同期比32億8千6百万円減少）により、7千5百万円（前年同期比77.2%減）と大幅な減益となりました。

今年度に入り、生産性の向上と合理化・省人化を目的とした新たな半導体生産設備への投資に積極的に取り組んでおり、10月の希望退職者を含む大量の人員減に伴う生産への影響は軽微なものに留まりました。

(b) 電源機器事業

当事業におきましては、昨年7月に導入された太陽光発電による電力買取制度を契機として、大型の太陽光パワーコンディショナを中心に受注が好調に推移し、無停電電源装置等を含めたインバータ全体の売上が18億6千1百万円（前年同期比74.2%増）となりました。

一方で、製品別売上高では、一般直流電源が15億7百万円（前年同期比50.6%減）、光源用電源が18億6千1百万円（前年同期比38.1%減）、溶接機が12億9千4百万円（前年同期比37.7%減）となり、当事業の売上高は104億8千7百万円（前年同期比20.1%減）となりました。セグメント利益は19億6千1百万円（前年同期比4.7%減）となりましたが、受注段階から営業利益管理を徹底したこと、海外部材調達比率の向上を含め製造原価低減に組織的に取り組んだこと等により、売上の大幅な減少による利益へのマイナス影響をほぼ吸収し、前年同期と同水準の利益を確保いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ17億8千3百万円減少し、224億7千7百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億8千2百万円、受取手形及び売掛金が13億6百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ22億9千3百万円減少し、89億6千1百万円となりました。これは主に買掛金が14億5千1百万円、借入金が3億7千9百万円、賞与引当金が2億8千4百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ5億1千万円増加し、135億1千5百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億1千3百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の連結自己資本比率は60.1%となり、前連結会計年度末の53.6%から6.5%の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の連結業績予想につきましては、平成24年10月26日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想の数値を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,575	5,193
受取手形及び売掛金	7,225	5,919
商品及び製品	1,784	2,110
仕掛品	759	976
原材料及び貯蔵品	1,506	1,266
繰延税金資産	503	415
その他	731	699
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	18,072	16,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,895	1,789
機械装置及び運搬具（純額）	456	606
土地	2,297	2,297
その他（純額）	335	263
有形固定資産合計	4,984	4,958
無形固定資産		
その他	678	564
無形固定資産合計	678	564
投資その他の資産		
投資有価証券	220	126
繰延税金資産	248	194
その他	56	68
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	524	387
固定資産合計	6,187	5,909
資産合計	24,260	22,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,225	3,774
短期借入金	1,801	1,421
1年内返済予定の長期借入金	100	600
未払費用	560	639
未払法人税等	82	58
賞与引当金	512	227
その他	1,537	1,382
流動負債合計	9,820	8,104
固定負債		
長期借入金	800	300
退職給付引当金	139	134
未払役員退職慰労金	454	388
その他	40	34
固定負債合計	1,435	857
負債合計	11,255	8,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,264	2,264
資本剰余金	2,188	2,188
利益剰余金	8,921	9,335
自己株式	△3	△3
株主資本合計	13,371	13,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	17
為替換算調整勘定	△364	△286
その他の包括利益累計額合計	△366	△269
純資産合計	13,005	13,515
負債純資産合計	24,260	22,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	20,397	14,465
売上原価	16,172	10,799
売上総利益	4,224	3,665
販売費及び一般管理費	2,701	2,511
営業利益	1,523	1,154
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	10	12
受取賃貸料	16	13
為替差益	—	32
デリバティブ評価益	14	—
その他	21	27
営業外収益合計	64	88
営業外費用		
支払利息	42	33
支払手数料	9	3
為替差損	122	—
デリバティブ評価損	—	36
その他	1	1
営業外費用合計	175	75
経常利益	1,413	1,167
特別利益		
固定資産売却益	94	3
投資有価証券売却益	0	6
特別利益合計	94	10
特別損失		
固定資産廃棄損	1	3
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	1	48
特別退職金	—	336
その他	0	0
特別損失合計	3	388
税金等調整前四半期純利益	1,504	789
法人税、住民税及び事業税	131	84
法人税等調整額	354	133
法人税等合計	485	217
少数株主損益調整前四半期純利益	1,018	571
四半期純利益	1,018	571

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,018	571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	19
為替換算調整勘定	△95	77
その他の包括利益合計	△109	96
四半期包括利益	908	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	908	668

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,264	13,132	20,397	—	20,397
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,264	13,132	20,397	—	20,397
セグメント利益	333	2,057	2,391	(867)	1,523

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,978	10,487	14,465	—	14,465
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,978	10,487	14,465	—	14,465
セグメント利益	75	1,961	2,037	(882)	1,154

(注) 1. 調整額は、報告セグメントに帰属しない本社部門の費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。